

防災とボランティア週間の 防災展示について

1月17日の「防災とボランティアの日」及び1月15日から21日までの「防災とボランティア週間」にあわせて市役所本庁舎1階や各支所等で防災展示を行っています。

- 日時：1月15日（月）～1月19日（金）
（8時30分～17時15分）
- 場所：本庁舎1階市民ホール，松永・北部・東部・神辺支所，
すこやかセンター1階

※「防災とボランティアの日」，「防災とボランティア週間」について

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機として，災害時におけるボランティア活動と自発的な防災活動の重要性が強く認識され，1月17日が「防災とボランティアの日」，1月15日から21日までが「防災とボランティア週間」として制定されました。



保存用食料



缶詰・ビスケット・
フリーズドライ食品



レトルト食品・保存用
食品



保存食セット



いまから備えよう！
**1週間分の
備蓄**

これまで家庭での備蓄は3日分といわれていましたが、甚大な被害が及ぶ南海トラフ地震に備え、現在では「**1週間以上**」の**家庭備蓄**が望ましいとされています。

1日に必要な
ストックの目安
(1人分)

水約2リットル



食料3食



最初の1~3日間

普段から多めに食材を買い置きしておけば、3日程度は冷蔵庫の中のもの食べてしのげます。冷凍庫に普段から冷凍食品を保存していくことも有効です。

次の3日間

普段から備蓄食品を定期的に食べ、食べた分を買い足すローリングストック法という備蓄方法があります。

救助工具・緊急用簡易担架



「救助工具」

災害時に必要な用具まとめています。

(内容)

パンタジャッキ
平バール・万能オノ
ゴーグル・軍手
防じんマスク など



「緊急用簡易担架」

災害時、けが人を搬出する際に使用します。平時は折りたためてコンパクトになるタイプのものを展示しています。

避難用ロープ・救急箱



「避難用ロープ」

災害時に1階部分が使用不可となり、2階や3階からロープを垂らして避難するための器具です。



「救急箱」

災害でけがをしてしまった時のため、準備しておきましょう。

(内容) 消毒薬・ばんそうこう・包帯
・持病の薬など



災害用備蓄水・応急給水袋

「災害用備蓄水」

上下水道局では、災害時における飲料水確保のため「災害用備蓄水」を製造し、常時20,000本を備蓄しています。この「災害用備蓄水」は、中津原浄水場で浄水した水を製造工場で塩素除去・加熱殺菌し、ボトル詰めしたものです。



「応急給水袋」

「応急給水袋」は6リットルまで水を入れることができ、運ぶ際には手でさげるほかに、付属のひもを使ってリュック式にもできるのでとても便利です。万一の災害に備え、上下水道局では「応急給水袋」を備蓄しています。



防災パンフレット・パネル展示



防災展示では、防災に関するパンフレットの配布や、平成30年7月豪雨災害など、過去に発生した災害のパネル展示を行っています。

「防災とボランティア週間」を契機に、あらためて災害に備えることの重要性を考えていただき、非常時持ち出し品の準備や避難場所の確認など、家族でできる対策をご家族みんな考えてみてください。